

2018年10月11日

Dentsu Lab Tokyo と NTT の研究所、クリエイティブとテクノロジーの融合で、 新たな感動体験を創造する共同プロジェクトを始動

— 第1弾は、リアルタイムに競技空間やライブ会場を丸ごと伝送・再現し、 新しいコミュニケーションを実現する「+3人称電話」 —

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：山本 敏博）の Dentsu Lab Tokyo^{※1} は、日本電信電話株式会社（本社：東京都千代田区、社長：澤田 純、以下「NTT」）の研究所^{※2} と、クリエイティブとテクノロジーの融合で、新たな感動体験を創造する共同プロジェクト（2020年6月30日まで）を始動しました。

その第1弾として、2018年10月13日～11月18日にNTTインターコミュニケーション・センターで行われる特別展「“感じる” インフラストラクチャー 共感と多様性の社会に向けて」^{※3} に共同出展します。作品名は「+3人称（プラスさんにんしょう）電話」。リアルタイムに競技空間やライブ会場を「丸ごと」伝送・再現し、体験者をリアルタイムで切り出してディスプレイに表示することで、お互いを第三者の視点から観察して対話できる新しいコミュニケーションを実現します。

2015年9月発足の Dentsu Lab Tokyo は、“考えながら創り、創りながら考える” をモットーに、クリエイティブの研究・企画・開発を一気通貫で行うことを特徴にしている組織です。電通社内のみならず、社外のアーティストやテクノロジストと協働しながら、オープンイノベーションにより広告領域にとどまらない分野の創造と課題解決に取り組んでいます。これまでに、NTTの研究所と共同実績のある Perfume とのパフォーマンス映像ライブ配信^{※4}をはじめ、ビョークとのコラボレーションプロジェクト^{※5}、機械知能が生成するミュージックビデオ^{※6}、AIスポーツ解説者^{※7}などのユニークな商品・サービスを世に送り出しています。

一方、NTTの研究所は、情報通信分野における世界屈指の総合的な研究開発拠点として、革新的なコミュニケーションや次世代情報ネットワークの基盤技術など、幅広い最先端ICTの研究開発をさまざまなパートナーと連携して進めてきています。

今回の共同プロジェクトでは、新たなクリエイションに活用するICTを必要としていた Dentsu Lab Tokyo と、ICTを通じて深い感動や新しい体験を提供するには優れたクリエイティブが必要と考えていたNTTの研究所が協働することで、「クリエイティブ×テクノロジー」での新たな感動体験の創造と、そのプロセスを通じ、未来の日本を支える次世代クリエイティブ・テクノロジスト人材の育成を目指していきます。

※1：Dentsu Lab Tokyo：<http://dentsulab.tokyo/>

※2：NTTの研究所：<http://www.ntt.co.jp/RD/organization/lab.html>

※3：特別展の開催概要：https://www.ntt-east.co.jp/release/detail/20180911_02.html

※4：Perfume とのパフォーマンス映像ライブ配信：<http://dentsulab.tokyo/news/?p=177>

※5：ビョークとのコラボレーションプロジェクト：

<http://dentsulab.tokyo/works/making-of-bjork-digital-livestreaming>

※6：機械知能が生成するミュージックビデオ「BRIAN ENO'S THE SHIP - A GENERATIVE FILM」：

<http://dentsulab.tokyo/works/the-ship>

※7：AI スポーツ解説プロジェクト「ZUNO」：<http://dentsulab.tokyo/works/zuno>

以 上

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレートコミュニケーション局 広報部
湊、竹村 TEL：03-6216-8041

【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通 Dentsu Lab Tokyo（電通ラボ東京）
藍、星田 TEL：03-6216-8756